

令和3年7月26日

令和3年度

第二回 技術英語研修（スピーキング）

報告書

【主催】自然科学研究機構 分子科学研究所(大学連携研究設備ネットワーク)

【開催日】令和3年7月13日(火)・14日(水)

13日 9:00～10:00

13日 10:30～11:30

14日 9:00～10:00

14日 10:30～11:30

(各回のプログラムは同じ)

【開催場所】オンライン (Zoom)

【講師】ふた葉プロジェクト (サイエンスコミュニケーター&ライター) 梅村綾子氏

【受講者】大学の技術職員、技術支援員 各回2～3名 合計11名

【プログラム】

- ・ミニ講座 (15分) ロールプレイで使えるフレーズ
- ・ロールプレイ (40分)

1人が技術職員役、残りが留学生役となり、英語でのやり取りを体験します。

実際に業務で使用している資料(例:担当装置の日本語取説)を使って、その一部の内容を相手に英語で伝える練習をします。

- ・まとめ (5分)

【報告】

今回、要望が多かった短時間の技術研修として、はじめて1時間という短い研修を企画した。1時間という制約の中で、高い効果が得られるように、ということで、業務内容に近い職員をまとめ、相互理解の得やすい研修となるよう工夫した。英語でのプレゼンテーション内容も、装置説明など実際の業務に関連するものを題材とし、関連する専門用語をあらかじめ参加者内で共有するなど、限られた時間の中で英語のコミュニケーションに集中できるように、参加者にも事前準備を行ってもらった。

- ・研修当日について

短時間の研修のため、最初に短い自己紹介と本日の目標を共有し、すぐに次のプログラム

であるミニ講座に移った。5W1H から1語と参加者の業務と関連する単語から1語を講師が選び、参加者が即興で疑問文づくりを行い、英語で思考する準備を行った。

メインプログラムのロールプレイングでは、説明する技術職員役と、質問する留学生役に分かれ、一人ずつ自分の業務から留学生へ、事前に準備した資料を使って説明を行った。質疑応答が終わったあとに、留学生役の参加者に技術職員が何を言っていたかまとめる作業をしてもらい、自分の理解したことをまとめて発表するという練習を行った。

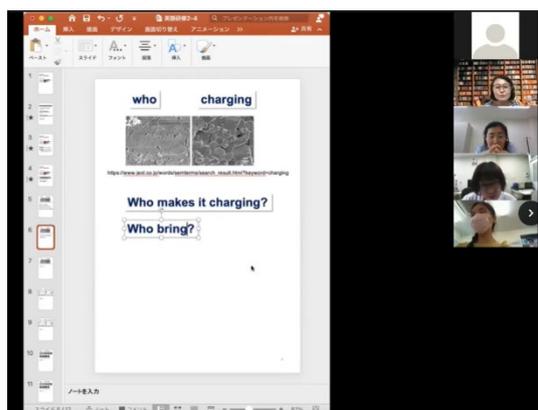


図1 ミニ講座の様子

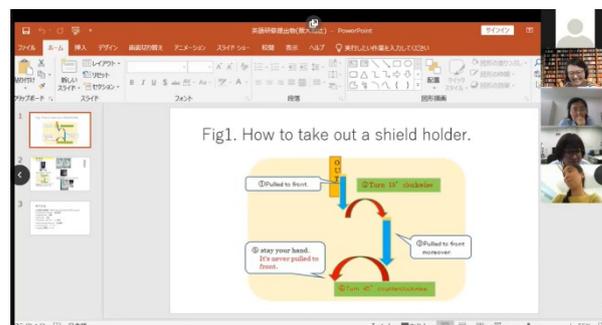


図2 ロールプレイングの様子

・まとめ

今回は最大3名、1時間という少人数短時間での研修を行った。初めての試みであったが、参加者からは非常によかったという意見が多く寄せられた。特に、少人数であるので英語を話す機会が多いこと、また短時間なので参加しやすい、上司の許可が取りやすい、ということが挙げられた。また、ロールプレイングの題材が実際の装置の説明など実務に直結する内容であったのも非常に好評であった。

アンケートには、1時間という時間が短く、もう少し受講したかったという意見が多く寄せられた。ただ、もう少し話したい、と感じることが、今後の英語学習のモチベーションともなるので、1時間の研修は効果のある研修であったといえる。短時間の研修は今後も開催していきたい。